

卒業生支援センター企画事業

I'm here.

「アートを生きる、アートで生きる」5つの空間



卒業生支援センターとは、東北芸術工科大学卒業生のアフターケアを目的とする機関。今年度、その具体的活動として、美術館大学構想室が企画・運営を担当した第一回企画展「I'm here」展が、せんだいメディアアテークで開催され、将来の活躍が期待される五人の卒業生の作品が紹介されました。

精巧なルイ・ヴィトンの模刻(木彫)を使ったパフォーマンスで、大量消費社会における価値構造の虚構性を暴いてみせたタノタイガは、大学院彫刻コースを修了。フランドル技法に精通し、欠落をかかえた動物たちの寓意画を描く画家・本間洋は洋画コースの第一期生。アートが介在するコミュニケーションの可能性に着目し、地元山形の新聞紙上にコラムを執筆するスズキジュンコは工芸コース出身。漆喰やセメント、鉄粉や炭化した板などと組み合わせ、従来の日本画の概念を打ち破る巨大で破壊的な絵画を描く佐藤裕一郎は、大学院日本画コースを修了したばかりの俊英。そして、新潟市内にデザインショップ兼スタジオを構え、オリジナルのラグマットの制作と、伝統産業を生かしたもののづくりの提案が注目を集めるエフスタイル(五十嵐恵美/星野若菜)は、生産デザイン(現プロダクトデザイン)学科で学んだ。

卒業生アーティストたちが、ここ山形で制作活動の素地を得て、現在は独自のアプローチで制作を続ける姿が、作品だけではなく、記録写真やスケッチ、コンセプトシートや映像など、若きクリエイターたちによる、制作の熱気を伝える様々な資料と共に展示された。

会期：2005年9月16日[金]～10月2日[日]

会期：2005年10月14日[金]～10月19日[水]

会場：せんだいメディアアテーク(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

主催：卒業生支援センター

企画：美術館大学構想室

協力：東北芸術工科大学校友会

キュレーター：宮本武典(東北芸術工科大学学芸員)

参加アーティスト：エフスタイル(五十嵐恵美+星野若菜)

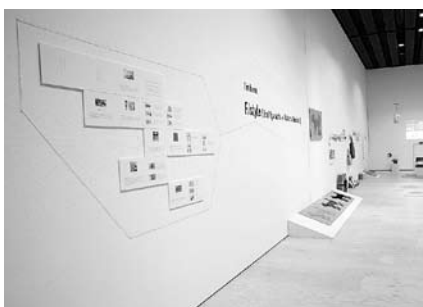
佐藤裕一郎/スズキジュンコ/タノタイガ/本間洋

右頁 / スズキジュンコインスタレーション風景



佐藤裕一郎展示風景



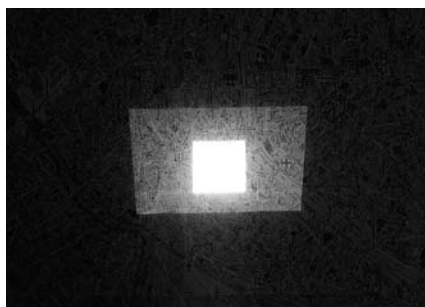


F/style インスタレーション風景



本間洋展示風景





タノタイガ展示風景



出品作家によるトークセッション
『アートを生きる、アートで生きる5つのスタンス』
パネリスト：スズキジュンコ×本間洋×佐藤裕一郎×タノタイガ×エフスタイル
日時：10月15日【土】15:00 - 17:00 (入場無料)
会場：6F ギャラリー 4200b

